

中学期の顔・首・手の症状から高校期に症状がみられなくなった小児アトピーの経過 (17 歳 女性)

症例 ID：001-17-NFu | 記録日：不明

1. 診断・治療前経過

生後 8 か月頃に手、肘、膝へ軽いかゆみがあり、一度は自然に軽減しました。4 歳頃に再燃し、約 6 か月間、内服薬と外用薬を使用しました。

中学 1 年の 9 月に額、首、手へ再び症状が出て、髪の毛の生え際は浸出性となりました。

2. ステロイド使用歴

項目	内容
使用内容	4 歳頃に皮膚科で外用薬を使用しました。ステロイドを含む可能性があります但詳細は不明です。
製品名	不明です。
強度	不明です。
使用期間	約 6 か月です。
中止時期	4 歳頃の治療終了時です。
来院前／後	来院前に外用歴があります。来院後は使用していません。

3. 治療開始後の経過（リバウンドを含む）

時期	治療開始から	経過
生後 8 か月頃	初回症状	手、肘、膝に軽いかゆみが出ましたが、自然に軽減しました。
4 歳頃	再燃・外用	皮膚科で内服薬と外用薬を約 6 か月使用しました。
その後	一時安定	皮膚症状は目立たなくなりました。
中学 1 年 9 月	再々発	額、首、手へ症状が出て、髪の毛の生え際は浸出性となりました。
松本医院受診	治療開始	煎じ薬と漢方入浴を開始しました。
治療初期	症状の波	皮膚症状が強く出る時期がありました。
中学卒業頃	回復傾向	皮膚状態が徐々に整いました。
高校期	経過後	アトピー症状はほとんどみられず、日常生活を送っていました。

4. ピーク時期

ピークは、中学 1 年頃に額、首、手へ症状が広がり、髪の毛の生え際が浸出性となった時期です。

5. 困りごと

- 煎じ薬の味と漢方入浴のにおいが、思春期の本人にとって負担でした。
- 学校で周囲の目を気にする不安がありました。

6. 経過のまとめ

中学期に治療を続ける中で皮膚状態が徐々に整い、高校期にはアトピー症状がほとんどみられなくなりました。皮膚症状を気にせず学校生活や日常活動を送れるようになりました。

本ページは、患者さんの経過を時系列で整理したものです。
症状や経過には個人差があり、同様の経過や結果を保証するものではありません。